

2特分会退職者送別会

中島さん吉岡さん、長い間お疲れ様でした

3月27日、2特分会中島さん・吉岡さん退職送別会を東陽町ビスタホテルのレストランを貸し切って開催しました。

当日はとても冷たい風が吹いていましたが、周辺の桜の木の花びらも大きく膨らみ春が近くまで来ているんだと感じさせられるなか、40名を越えるたくさんの組合員の人々に集まっていたいただきました。

退職者送別会の

開会を前に、木村書記長から「東北関東大震災による一万人をこえる犠牲者、一万七千人



の行方不明者、同じグループで働く仲間も多く亡くなっている」と提起があり、参加者全員で犠牲者に対して黙とうを捧げました。

今回の司会は分会幹事のYさ

ん。佐々木分会長から「東日本大震災は被害甚大である。組合ではカンパや支援物資の取り組みをやっているのでもよろしく願いします。中島さん、吉岡さん本当に長い間お疲れ様でした」と開会のあいさつがあり、和やかに送別会がはじまりました。

高木副分会長の乾杯でようやくビールが喉に流れていききました。

料理は、厚切りのローストビーフやマグロのカルパッチョ、サーモンマリネやメロンフルーツ盛り合わせなど、とても豪華なビスタホテルのオードブルに「普段こんなの食べられない」と大盛況。

おなかも落ち着いてきた頃に「中島さん・吉岡さんにひと言」です。「ふたりは、私がオギヤーと生まれたときにはすでに働いていた、ベテランだな」と思います」「中島さんとは中郵でも一緒でし

だが、最初は気むすかしい人だと思っていた。2特に来てからは楽しい上司にめぐまれたと感じる」。「吉岡さん、長い間お疲れ様でした。これからは誰に年休を出せばいいのかわからない（笑）」。「中島さんは、飲むのが好きな人なのでよくご一緒しました。いろいろな局を歩いている人なので人間的にまるくまとめるのが得意な人だと感じました」。「吉岡さんは有名な、組合活動を頑張っていたとよく聞く。中島さんとは寒空の明け方に歩き、信濃路でハムカツを食べたのがおいしかった」。「中島さんは課長代理としては厳しい人だった。吉岡さんを含め怖い先輩のもとで課長代理をやらせてもらいました」と心あたたまる贈る言葉をいただきました。

時間も押し迫り、花束と記念品の贈呈です。中島さんから「みな

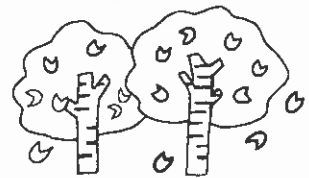
さんありがとう、言いたいことはいっぱいある。職場の仲間に支えられて人生を過ごしてきた。激動の時：反マル生闘争、労使の対決：若い頃はみんな貧乏でした。100円の焼酎を飲みつつ民主主義とはどうあるべきかなど真剣に話し合い幸せを築いてきた。現場の最高のポストで終わるのは幸せです。ゆうメイトさん、命でやってきました。これからもよろしくお願ひします。幹事の仲間の皆さんありがとう！」と、お言葉をいただきました。吉岡さんからは「骨折して指定表作成していたとき、粉骨砕身して最大に神経を使い、すばらしいものを作ってきた。これからは朝の6時50分の電話にビクビクすることもなく使走からも開放される。全部自腹なので事故は0でお願いします。いつまでたっても課長代理のCランクは抜

けられない。組合では下山支部長と中部ブロックで一緒にやっていた。労・労運動をやっていたので労働運動をやっているのがうらやましかった。みんなありがとう」とお言葉をいただきました。

最後に下山支部長の団結ガンバローで締めくくりました。

カンバしてくださった方々・盛り上げてくださった方々ありがとうございました。

分会幹事が役割分担した上で一致団結して協力し大変盛り上がった楽しい送別会となりました。参加したくても、深夜勤など勤務の都合で参加できなかったみなさん、次回はぜひよろしくお願ひします。お疲れ様でした。



日 刊
新東京

No. 6 1 2

2011年
4月4日(月)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

まだまだ道のは

険しいが

3月11日の東日本大震災から
3週間が経過しました。

マスコミ報道を通じて明らかに
なる惨状は、心が痛むことばかり
だ。死者は12000人近くに及
び、行方不明者も15000人に
及んでいます。

また、16万人以上の人が避
難生活を強いられている。

この地震の影響で福島第一原

子力発電所事故が起き、未だに収
束がつかない状況にある。それど
ころか、益々、国民に不安感を醸
成している。

この大震災後、ゆうパック職場
にも様々な影響が出ています。

地震の状況が明らかになるに
つれて、石油ショックの時と同じよ
うな状況になりました。

トイレットペーパー、ティッシュ、
乾電池、水、ガスボンベ、米などの
生活用品がスーパーの棚から消
えていった。ガソリンスタンドに
は長蛇の列ができ、ガソリンも不
足した。

ガソリン不足は、郵便も含めて
運送関係に携わる業界に大混乱
を来した。

ゆうパック関係の運送業者の人
は「スタンドに数時間並んだ。そ
のために休憩も取れなかった」と
嘆いていた。

この様に、生活用品の不足を補
うために、西日本各地から関東、
都内に向けて様々な生活用品が
送られてくるようになりました。
極めつきは、「東京都は23日、
葛飾区の金町浄水場において22
日午前9時に行われた検査で、水

水道に210ベクレル/キログラムの放射性ヨウ素131が検出されたと発表。このため、金町浄水場の給水範囲である東京都23区、武蔵野市、町田市、多摩市、稲城市、三鷹市において乳児の水道水摂取を控えるように呼びかけた」との報道です。

福島原子力発電所事故が関東各地に影響を及ぼしてきた。

このニュースを見たとき『明日からは、今まで以上に“水”のゆうパックが増えるな』と職場で囁かれた。案の定、次の日から都内宛を中心に大量の水が送られてきました。

2ヵ月6本入りケースや今まで見たことのない20リットルのボトル等々。

水の入った到着しRBは重く、

作成されたロールパレットも、かなりの重量になった。

輸送部に100パレット以上交付(10〜13地域)しても通常の便数では足りなくなり、臨時便対応の日もあった。

ゆうパック職場では、米、水のゆうパックを大量に扱い、腰痛で休む人が増えたようです。 某紙

の『今までは、被災された方々の事を思うと、買いために走ることは控えてきました。しかし、今回の放射能汚染を考えると、我が子の事を思い、水の買いために動いてしまいます』との主婦の投書が印象的だ。

今回の福島原子力発電所事故で、原発の「安全神話」は完全に覆されました。

今後、国のエネルギー政策がど

のような方向になっていくのか注視したい。

今回の東日本大震災に対して、JP労組は義援金カンパ活動に取り組んでいる。分会でカンパをお願いしたところ、多くの組合員の方から、気持ちを込めたカンパをいただきました。

この気持ちは、必ず被災地の方々に届くと思います。

なお、本部の情報によると、日本郵政グループで死亡された方は22人、行方不明者は31人とのことです。

「冥福を心からお祈り申し上げます。

(投稿)

日 刊	JP新東京	No.615	2011年4月7日(木)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

東北地方本部・有馬執行委員長より御礼メッセージが届きました！

仲間の皆さまのご支援に感謝申し上げます

～東北地方太平洋沖地震復旧・復興に向けて、心ひとつにがんばろう東北～

この度の東北地方太平洋沖地震に際し、全国の仲間の皆さまから心温まるご支援と激励を賜り、心から感謝申し上げます。

また、竹内中央執行委員長をはじめ、多くの皆さまが東北の地へ激励にお越し頂きました。さらに、各支部・分会・組合員の皆さまから多くの支援物資を送って頂いておりますことに重ねて感謝を申し上げます。

東北地本は対策本部を立ち上げ、支部・分会・組合員、グループ各社とあらゆる連絡網を通じ、組合員の安否確認に全力を挙げているところであります。また、郵政グループ各社に対して被災地の状況を踏まえた改善策について、中央本部を通じて対応を頂きました。グループ各社は緊急性を要する課題として捉え、安心・安全を第一に社員の人命を最優先に考えて対応することを基本に、勤務等の取扱いや柔軟な要員配置、さらには社宅関係の緊急対策や支援物資の手配などを速やかに取り組むことを明らかにし、対応を図っております。

さて、3月11日14時46分に発生したこの地震は、かつてない甚大な被害を発生させ、自宅や職場が一瞬のうちに流され、なぜ！という天災へのやり場のない怒り・思いの中で、地域の復旧・復興と郵政サービスの確保に向けて精一杯取り組んでいる組合員、さらには、福島原発の爆発事故により放射能漏れが発生し、健康被害への不安を抱いている組合員など皆さまさまざまな苦勞・心勞の中で日夜頑張っております。

この最大の危機をどのように乗り越えるかは、私たち一人ひとりの行動にかかっていると考えております。未だ続く余震とライフラインの復旧がままならない不安の中で、それでも復旧・復興に向けて、「3.11、14:46」の刻を一步一步進めなければなりません。

私たちにはJP労組東北の仲間20,200人、全国239,000人の絆があります。自分を信じ、仲間を信じ、未来のある希望をつかむため、心をひとつに頑張ります。

全国の仲間の皆さまへ
2011年4月

JP労組東北地方本部
執行委員長 有馬 輝

「第82回メーデー中央大会」への参加要請について

連日の諸活動及び東日本大震災復興支援へのご協力に対し、心から感謝申し上げます。

さて、本年も「第82回メーデー中央大会」が、「すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう！」をメインキャッチに開催されます。

しかし、3月11日に発生しました東日本大震災において多くの方々が命を奪われ、被災されている現状をふまえ、主たる目的を東日本大震災復興支援として、例年の内容を一部変更し実施することとなりました。

J P 労組としては、働く仲間の連帯で被災地の復興支援に向け全力で取り組むことから、組合員の皆さんの参加をお願いします。

記

1. 名 称 第82回メーデー中央大会
※東日本大震災復興支援集会を主な目的とする
2. 日 時 2010年4月29日(金・祝日)
11:00~12:00
3. 構 成 「中央大会式典」 11:00~12:00
※結集デモ、ふれあい祭り、模擬店は中止
4. 会 場 代々木公園(B地区、野外音楽堂、けやき通り)
5. 集合場所 野外ステージ時計塔前(10:00集合)
※目印は「J P 労組東京」のぼり旗です。

以上

『今、私たちに出来る取り組み』

「緊急義援金カンパ」の第1次集約で、新東京支部として350,074円を送金し、東京地本全体で2,649,333円のカンパ金が集まりました。組合員の皆さんの多大なるご支援に感謝申し上げます。

今回の支援活動は『特に継続した取り組み』が必要であり復旧・復興に向けた更なる取り組みが必要です。

第2次集約が4月22日となっております。引き続きご協力をお願いします。

日 刊 新東京	No. 616	2011年4月8日(金)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	・ 内線 4353

大震災の被災地東日本へ 励ましのメッセージ

東北関東大震災の犠牲者・避難者に心よりお見舞い申しあげます。
義援金カンパや支援物資活動も組合員の皆さんに協力的に取り組んでもらっています。大変感謝いたします。

現地にかけてつけて支援したくても実現できない状況の中、私たちが今できること…「頑張れ東日本つながっているメッセージ」として東北関東大震災の被災者へむけてメッセージを募集しています。

この「励ましメッセージ」は、精神的にも被災地を支えていこうということで新東京支部として取り組んでいます。少し紹介します。

日本郵政グループ労働組合 新東京支部

コメント

1 ■被災されたみなさん、心からお見舞い申し上げます

被災された組合員とその家族のみなさん、そして被災されたすべての方々に心からお見舞い申し上げます。また、大震災で亡くなられたすべての方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

3月11日の大地震が発生したとき、福島県出身の私は他人事に思えず居ても立ってもいれませんでした。テレビで報道される津波の惨状を見てはただただ立ち尽くすだけでした。しかし、昨晚、がれきをかき分けながら郵便物を配達する姿をテレビで拝見し、私が今出来ることを精一杯していくことを決意しました。私が今出来ることは義援金や物資を送ることぐらいで微々たるものですが、今出来る精一杯をやっていきます。皆さんも大変でしょうが心折れることなく明日に向かって頑張ってください。「心はひとつ」、精一杯応援しています。

2 ■みんなつながっています

東京の支部のものです。

津波の映像を見て津波の破壊力に身震いしました。

テレビで陸前高田郵便局が出ていましたが3階まで（一番上まで）津波にのみこまれた模様です。

作業していた方が無事であってほしいと願っています。 （裏へ）

(続き…)

すぐに支援にはいきませんが、みんなつながっています。とりあえずカンパ程度ですが協力させていただきます。

3 ■上を向いて歩こう

かならず春はやってきます。決して諦めないでください。私たちが今できることを精一杯やっていきます。みなさんも下を向くことなく、振り返ることなく上を向いて歩いていってください。みなさんの仲間は、全国にたくさんいることを忘れないでください。ファイト！

4 ■まだまだ寒いですが…

今日は東京も寒いです。

いやいや、被災地の福島や岩手は比べものにならないくらい寒いはず。電気の復旧もようやく進んでいっているようです。福島県に住んでいる友達に連絡できました。無事で何より…。

5 ■感動しました

先程テレビで大船渡郵便局の配達員が郵便を配達している光景をみました。大切な情報だけでなく勇気をもあたえるその姿に深く感動しました。同じグループの人間として頑張らなくてはと思いました。

6 ■この頃思うこと…

この頃思うこと…

大震災の甚大なる被害・犠牲はテレビや新聞に報道されている。いまはテレビの方をよく見ている。

気仙沼や南三陸町など被災地からの中継や生レポートが増えてきた。行方不明の愛する人、家族の行方を探し苦悩し彷徨する映像を目にすると胸が締め付けられる。

でも…なにか、ちがう…。

「この世の地獄だ…」と元漁師らしい年配の男性が泣きながら言っていたこと、と…テレビの映像（特に東京のスタジオ）とにギャップを感じる。すでに犠牲者が1万人を超えようとしている。直接現地にいけない私たちは、想像力を働かせて、映像には映せないほど凄惨な事実があるんだ！ということをつかみ取っていかなければいけないと思う。

7 ■無題

JP労組として義援金を集めています。車もなく何もできないと思っていた私は良いことだと多くの仲間の声かけをおこなっています。いつも口うるさい組合員が多額のカンパをしてくれました。その中に彼の被災された人々たちへの熱い思いに感動させられました。この気持ちは必ず信わると私は確信しました。もっと出来る限りのことをやりたいと思っています。頑張ろう！頑張ろう！ガレキに立ち向かうのは一人じゃない。全国の仲間が熱いまなざしで支えています。

日 刊
JP 新東京

No.617

2011年
4月11日(月)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

拡大執行委員会開催！

～ 私達の原点は ～

4月9日(土)、第6回執行委員会・第3回拡大執行委員会が支店内2F研修室で開催された。今会議は当初3月に開催を予定していたが、3月11日に東日本を中心に大災害が発生したことから、3月14日、会社・本部間での交渉が中断され、災害対策が中心となったため、この時期の開催となった。

初めに支部長より、大震災で被災された方々へのお悔やみとお見舞いの念が述べられ、今まで支部で取り組んできた各種災害対

策行動に対する結果とお礼、今後継続した取り組みの要請があった。また、組織の力量が問われる全国統一地方選挙での組織内・推薦候補の完全必勝に向けた取り組みの要請があった。更には、4月1日に実施された輸送部・ゆうパック部の組織統合における経緯と現状把握、4月1日・4月7日に実施された人事異動についての現状と問題意識について説明があった。

その後、支部書記長より4月4日に開催された臨時支部長会議の報告がなされた。主に会社の現状と今後であり、現在の損益状況は東日本で発生した大震災の損益が換算されず、更なる収支の差が発生すると予想される。厳しい状況という認識の変化は

なく、万が一定期昇給にまで踏み込んで話が及ぶようであれば、団体交渉扱いのため臨時の中央委員会が召集される可能性もある旨の報告があり、ここで一度意見を募ることとなった。

休憩をはさみ執行部各部から報告・連絡事項が発表された。

初めに教育部から、これまでの災害対策本部からの日々変わる行動要請のもと、新東京支部として取り組んできた各種行動(義援金カンパ、支援物資送付の状況(送付状況は後日掲載予定)、応援メッセージ募集、節電・節約、書損・未使用ハガキの集約)への取り組みと結果について報告があった。さらに、東京平和集会で組合員数を超える折り鶴を奉納したことの報告があった。

男女共同参画部からは、新東京支部として今年2月に正式に女性フォーラムを設置したが、未だ女性委員を設定できない分会

があることを述べ、早急に選任するよう要請があった。

福祉共済部からは、現在、大型生命共済『きずな』の新規加入の取組を実施していることから、各分会の未加入者に対して早急に声かけを実施するよう要請、更には、総合共済の未加入者にも助け合いの輪に加わるべく加入促進をするよう要請があった。

組織部からは、引き続き拡大行動の展開を要請するとともに、この一年間でたくさんの仲間が加わった現実もあり、5月中旬に支部として大々的に歓迎会を開催したい旨提案があった。

最後に副支部長より、『東北の組合員は天災・人災と大変な想いをなされている。こういう時こそ仲間同士の助け合いが必要。私達の原点は助け合い・協力すること。今こそ全員力を合わせて乗り切ろう。そして、区議会選挙の3名の候補者全員、必勝に向けて心一つに頑張ろう。』と挨拶があ

り閉会した。

会の途中、様々な意見が論議がなされた。組織統合については、現在のところ意見は少ないように思えた。ただし、人事異動については問題点が垣間見える。職場の為、働く組合員の為と真に最良の異動でなければ実施する意味はない。今後、支部としてもそのスタンスを崩さず意見していくこととする。

◎ご協力に感謝いたします！◎

J P 労組として取り組んで参りました組合員とその家族を対象とした緊急支援物資の送付については、全国から被災地の各支店に支援物資が数多く届いています。また、ライフラインの復旧や運送状況の回復等から現地での物資調達も徐々に改善されてきています。

以上のことから、今まで指示のあった盛岡支店あてへの緊急支援物資の送付は、4月12日(火)を以て一度終了します。

しかながら、未だ物資が不足している地域が多数存在し、連合からも水やおむつの物資送付の依頼が来ているのも事実です。

新東京支部としては、今後支援物資の送付の依頼が来た際、速やかにお知らせします。引き続きご協力をお願いいたします。

書損・未使用の郵便ハガキを集めています・・・

J P 労組では書損や未使用の郵便ハガキを換金しカンパ金として災害支援に充てる取り組みを現在展開中です。

支部締切を4月25日(月)とします。ご自宅で眠っている郵便ハガキがある場合は、是非ともご協力をお願いします。

支部事務室にハガキ入れを設置しています。

4月11日現在のグループ各社の人的被害状況について

2011年3月11日14時46分に発生した「東北地方太平洋沖地震」のグループ各社の人的被害状況について、4月11日現在の状況は下記のとおりです。

また、4月7日23時32分頃、宮城県を中心に震度6強の強い余震が発生しましたが、一部の建物に被害は出たものの、人的被害はありませんでした。

なお、3月18日に協力を依頼しました支援物資については、本日4月12日の発送分をもって終了とします。

引き続き、6月10日まで義援金カンパ活動を行っております。皆様のご協力をお願いいたします。

【人的被害状況】

○日本郵政	死亡	3名	
○郵便事業会社	死亡	16名	
	行方不明	12名	
○郵便局会社	死亡	16名	(簡易局6名含む)
	行方不明	12名	(簡易局2名含む)
○日本郵便輸送	死亡	1名	
	行方不明	1名	
			死亡 36名
			行方不明 25名

ゆうちょ銀行・かんぽ生命保険については、人的被害はありません。

震災から昨日でちょうど1ヶ月が経過しました。

昨日の14時46分、黙祷を捧げていた被災者の姿を、涙なくして見ることは出来ませんでした。依然として被災地は時間が止まったまま。そして容赦なく余震だけが襲ってきています。

しかし、「できることは何でも協力したい」という日本中の人々の思いは、きっと大きな実を結ぶと思います。

復興の日が1日でも早く来ますように。

日刊
新東京

No.619

2011年
4月13日(水)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

大震災より一ヶ月を迎えて

下を向かないで…これ以上つらいことはないの

上を向いて歩こう(岩手県宮古市 市長 4月11日)

3月11日、岩手県三陸沖を震源とするM9.0の「東北地方太平洋沖地震」が発生した。

多くの人々の命が奪われ、行方不明者も多数発生している。

新東京支部を代表して心より哀悼の意を捧げると同時に御見舞い申し上げます。

この地震により自然災害としては過去に例を見ないほどの被害を出した。死亡者13200人、行

方不明者は14200人を超える。20万人以上が現在でも避難者生活をおくっている。この大惨事の実態が明らかになるにつれて自然の猛威、自然の凄まじさと人間の力のおよばない領域があるのだということに無力感を感じ、人類は自然を克服しコントロールできるのだというのは錯誤と思いがりでしかないことに恐怖を覚える。

大震災より1ヶ月が経ち、人間の生命力の強さと人間愛を強く感じさせられる。まだ余震は続いていますが、泥だらけの中から地域の再生、再建に向けた取り組みが進められている。

郵政グループの犠牲者は死亡・行方不明者をあわせて61名。

J.P.労組としてもいち早く災害義援金や緊急支援物資の取り組みなど、組合員の協力のもとすすめられている。「なんぼ」のキーワードでも「絆(きずな)の再生」がいたるところで叫ばれていたが、あらためて人と人の「絆」、仲間としての「絆」の大切さを痛感させる。

マスコミの報道でもあるが義援金カンパや各種ボランティア活動にはとても人間性を感じる。



自然災害である大震災を因として、福島第一原発の1・2・3・4号機、使用済み燃料貯蔵プールの崩壊は明らかなる人災である。現在も決死の思いで事態の収束をはかるうと作業をつづけている。人間が作りだした原子炉は日本の政治のあり方、私たちの生活スタイルを個々に問い、今後どのようにしていくべきなのか、子や孫の代へ美しい地球を残せるのか問われている。野菜や魚介類などの食べ物への風評被害は言うに及ばず、人としての生き方まで問われていると思う。

被災地への支援を連綿なく続け、復旧そして復興へ向けていくことと同時に、一刻も早い原発事故の終息を願いつつ私たちが一致団結していかななくてはならないと強く感じる。

新東京支部 支部長 下山 薫

「郵政未来研究会（みらい研）」募集中

働くものの公正・公平そして安心・安全に働き暮らしていくことのできる社会と郵政事業を守り発展していく政策の実現を目指しJP労組の政治活動を推進していくことを目的に郵政未来研究会を設立しました。

郵政事業・税制・環境・教育・社会保障・平和…私達の暮らしと未来は政治と密接に関係しています。私達の強い意志が公正な社会を創ります。
詳しくは組合役員まで…

大震災の被災地東日本へ 励ましのメッセージ募集

東北関東大震災の犠牲者・避難者に心よりお見舞い申し上げます。現地にかかけつけて支援したくても実現できない状況の中、私たちが今できること…「頑張れ東日本つながっているメッセージ」として東北関東大震災の被災者へむけてメッセージを発信していきたいと思えます。

このメッセージは機関紙の「日刊新東京」にも掲載していきます。東北や被災地周辺の出身者の方、東北などへ行ったことのある方ない方、あらゆる人にこの大震災で思ったこと考えたことを書いてもらいます。復旧・復興への道のりはそう簡単ではないでしょうが、ここではひとつメッセージ「頑張れ東日本」と発信していきましょう。



日
刊

JP新東京

NO. 620

2011年4月14日(木)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部

TEL 03-5606-6784 内線 4353

〔2011春季生活闘争交渉情報〕

会社側は「定期昇給は実施の可否を検討、

一時金年間2.8月(対前年比▲1.5月)」

などの極めて厳しい回答を示す

本部は「到底受け入れられる回答ではない」と断固抗議するとともに、会社側に再考を厳しく申し入れ、団体交渉を打ち切る

1. 一昨日(4/12)、中断していた春闘交渉を再開することで確認したことを受けて、昨日(4/13)、第1回団体交渉を開催し、会社側は、2011春季生活闘争要求書に対する第1次回答を示してきた。
団体交渉には、増田書記長をトップに担当中執が出席し、会社側は、日本郵政から佐々木専務、高橋専務、郵便事業会社から伊東副社長など、各社の経営幹部が出席した。
2. 会社側は、「定期昇給の実施可否を検討、一時金は年間2.8月(対前年度▲1.5月)、月給制契約社員の一時金支給率を年間0.12引き上げ、時間外割増率等の改善を実施しない」など、定期昇給の実施判断を先送りし、一時金の大幅なマイナス回答を示してきたことから、本部は、「到底受け入れられる回答ではない」と断固抗議し、会社側に再考を厳しく申し入れ、本日の団体交渉を打ち切った。
3. 会社側は、「郵便事業会社の平成22年度の営業損益は▲1,185億円の赤字となる見通しである。また、平成23年度以降については、ゆうパックのサービスレベルの見直し、ゆうメール・ゆうパック等の拡大による増収、要員配置の適正化、機械化・IT化による効率化、本社のスリム化等組織の見直し、グループによる支援など、あらゆる対策に精力的に取り組み、反転攻勢を図っていく考えであるが、こうした取り組みによっても、郵便物の構造的な減少等から、営業損益は平成23年度で約▲979億円の赤字、平成24年度においても単年度営業黒字の目標達成に向けて大幅な不足が見込まれる状況であり、債務超過の可能性を回避し、会

社の存続・発展と雇用の確保を図っていくためには、平成 23 年度において、営業損益をできる限り改善し、平成 24 年度の黒字化の道筋を確実なものとするのが不可欠である」との考え方を明らかにした上で、「郵便局会社については、郵便事業会社の経営悪化の影響を直接受けることになるとともに、金融 2 社からの手数料も減少していること、また、ゆうちょ銀行及びかんぽ生命については、平成 22 年度の経営状況は数字上必ずしも悪くはないが、貯金残高や保有契約件数の減少といった事態が継続している状況にある。このように各社の経営状況がそれぞれ厳しい状況にあること、また、郵便事業は郵政三事業の基本であり、中核であることから、郵便事業の課題は全体で受け止めるべきとの考えに立つとともに、J P 労組からの要請も踏まえ、各社の労働条件を統一する」という考え方を示した。

4. 本部は、「定期昇給の完全実施を判断せず、生活を脅かす年間 2.8 月の一時金回答など、生活に大きな影響を受けるのは組合員のみならず、その家族の生活にも大きく影響するものであり、回答は到底受け入れはできない。現場で汗して懸命な努力をしている組合員に対して、このような大幅なマイナス回答を示してきた経営幹部の経営責任は厳しく問われるものであり、組合員の努力を評価せず、事業に対する求心力を失う回答は断固受け入れられるものではない。これまで築き上げてきた労使関係を根底から揺るがすような経営幹部の姿勢に厳しく抗議するとともに、早期に要求項目全ての再考を行い、改めて回答を示すよう強く要請する」と厳しく申し入れ、団体交渉を打ち切ったところである。
5. 本春闘交渉は、当初から極めて厳しい交渉になることを想定していたが、第 1 次回答を受け、J P 労組の総力を結集した取り組みを展開して、会社側に強く再考を求めていくこととし、春闘交渉に関わる交渉以外（震災関連を除く）は全て凍結して、定期昇給の完全実施をはじめ、厳しい回答に対する上積み交渉に全力で臨むこととする。
各機関においては、組合員への情報周知を徹底するとともに、会社側に対する抗議行動を緊急に取り組むので、各機関・全組合員は、別途指示する抗議行動を早急に取り組み、中央闘争本部の後押しを強く要請する。

◎到底納得のいく内容ではないため、新東京支部名及び各分会名で日本郵政・齋藤社長宛に「抗議レタックス」、郵便事業会社鍋倉社長宛に「抗議はがき」を送付します。

日 JP新東京 刊	No. 621	2011年4月15日(金)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

日本郵政株式会社、郵便事業株式会社、郵便局株式会社の

23年度事業計画の認可等について

総務大臣へ認可申請中であった日本郵政株式会社及び郵便事業株式会社の平成23年度事業計画が認可を受けたこと、また、届け出ていた郵便局会社の平成23年度事業計画が受理されたことについて説明があった。

郵便局会社の事業計画は、当初108億円の赤字を見込んでいたものの、コスト削減により6億円の黒字を確保する計画となりました。

一方、郵便事業会社の事業計画は、営業損益▲979億円の多額な赤字となる計画であり、中央本部は、郵便事業にとどまらず、郵政グループ全体の経営努力による更なる収支改善を行なうべきと考える。また、今回の事業計画は、春闘が延期されていること及び震災の影響等を反映したものではないことから、総務省より次の4点の条件を付されています。

- 1、本事業計画及び本年1月28日に総務省に提出した報告に記載されている収支改善施策を着実に実施すること。
- 2、本事業計画は、現在交渉が中断している賃金交渉の結果が加味されていないものであるため、今後、4月末を目途に、関係当事者との調整の上、その結果を反映した事業計画の変更申請を行なうこと。また、震災が経営にもたらす影響も見込まれるところであり、その影響により事業計画の変更が必要となった時には、事業計画の変更申請を行なうこと。
- 3、上記1の収支改善の進捗状況について、報告を行なうこと。
- 4、適正な要員配置の施策を行なうに当たっては、円滑な業務運行の確保に配慮するとともに、非正規社員の雇い止めを行う場合には関係法令を遵守し、現場における業務に支障をきたさないよう努めること。

上記を踏まえて変更認可申請があり得ると考えます。中央本部は、JP労組から求めた収支改善策が反映されていないことから、総務省の認可条件を踏まえつつも、更なる収支改善に向けた経営努力を引き続き求めていく

第82回メーデー

日時 4月29日 10:00

場所 代々木公園

野外ステージ時計塔前



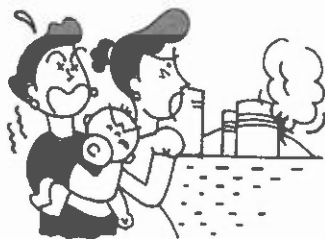
崩れた『安全』

震災から一カ月がたった。徐々に災害の実態が明らかに、あらためて被害の大きさに愕然とする毎日である。

なかでも、これからの復興に暗い影を落としているのが原発の事故である。震災直後に発生した福島第一原発の事故は、原子炉の稼働は止まったものの、その後におきた爆発で建物は吹き飛び、多量の放射性物質を大気中に放出し、周辺住民の避難という事態になった。事故からの復旧もなかなか進まず、その間、被害は農作物から水道水の汚染、更に、汚染された水の海への流出や放出により海産物へと拡大していった。

日本の原発は建設当初から「安全」、「クリーンなエネルギー

」をキャッチフレーズに国策として進められてきた。しかし今回の事故でその「安全」も脆くも崩れ去ったと言っていないだろう。爆発で破壊された建物の無残な姿がそのことを物語っている。



福島県の原発の電気も、新潟県の原発の電気も、全てそれを使うのは遠く離れた東京をはじめとする首都圏で使うものである。

(下)

日 刊 新東京	No.6 2 2	2011年4月18日(月)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

新年度が始まり2週間が過ぎました。職場では新しい仲間が加わったり、または退職・異動されたかたがいます。皆さん気持ちを新たに仕事に従事していることと思います。気持ち・気分と言った内面的なものだけでなく、身体健康面でも万全の体制を整え、仕事に臨みたいと思っているので健康面での話をしたいと思います。

これから職場では春の定期健康診断を迎えますが、そもそも健康診断とは、診察および各種の検査で健康状態を評価することで健康の維持や疾患の予防・早期発見に役立つものです。健診・健康診査とも呼ばれ、特定の疾患の発見を目的としたものは検診と呼ばれます。学校や職場、地方公共団体で行われる法令により実施が義務付けられているものと、受診者の意思で任意に行われる場合があります。任意に行われる健康診断は、診断書の発行を目的とした一般的評価のことが多いが、全身的に詳細な検査を行い多種の早期発見を目的としたサービスも広く普及しており、船舶のオーバーホール施設になぞらえて人間ドックと呼ばれています。

労働者の健康診断は労働安全衛生法および労働安全衛生規則によって定められています。費用は事業主の負担とされていますが、事業主が実施する健康診断を受けず、本人の都合により各自で受ける場合には、自己負担としても良いとされていますが、それを行わない場合には、健康診断義務違反（労働安全衛生法66条）となり、50万円以下の罰金となることもあり、過去には、健康診断受診を拒否したことが従業員の解雇理由として認められた判例も存在するそうです。

裏面に続く

しかし健康診断といっても万能ではなく、様々な問題点があります。定期健康診断の検査方法は、簡単・迅速を主旨としているため、健康状態の判定の目的に対して最良のものとは限りません。例えば糖尿病の検査としては、定期健康診断等の項目である尿糖検査よりも、血糖検査の法が優れているとされています。また多くの受診者に対応するため、場合によっては検査の精度が劣ったり、疾病を見落とす危険性が指摘されています。

自分の詳細な健康状態が知りたいかたは人間ドックや脳ドックといった検査を受けてみるのもいいかもしれませんが、人間ドックは身体の状態をチェックして、病気の早期発見・早期治療に役立つ目的で始められたものですが、脳ドックは脳梗塞や脳出血・くも膜下出血といった病気は発症してからの治療では遅く、発症を防ぐための予防・脳の病気を未然に発見することを目的としたものです。

脳ドックは無症候性脳梗塞など、特に症状がみられないまま進行する脳の病気の発見に優れた成果をあげています。料金は施設によって、あるいは検査項目によって違いがありますが、数万円程度で受けられるそうです。あくまでも無症状の人のための健診なので、健康保険は適用されませんが、企業・健康保険組合自治体によっては費用の一部を補助しているところもあるようです。

日本人の3大疾病である癌・脳の病気・心疾患の危険因子となる糖尿病や高血圧などの生活習慣病になる人が増えているのも最近の日本人の傾向です。生活習慣病は糖尿病・脳卒中・心臓病・高血圧・肥満などのことをさしますが、これは日本人の生活が欧米化していることで増えている病気です。どれも怖い病気ですが、飲酒・喫煙、食生活、運動などで生活習慣を改善することができます。新年度はまだ始まったばかりです。健康面に気を付け、充実した日々を過ごせるようにしていきましょう。

日 JP新東京 刊	No.624	2011年 4月20日(水)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

定期昇給は完全実施

1. 本部は18日、粘り強く団体交渉を繰り返してきた結果、会社側から「定期昇給は完全実施する」との前進回答を引き出し、本日も年間一時金2.8月・月給制契約社員の基本月額の上積みについて、会社側に強く求めているところであるが、昨日同様に、労使の議論が平行線のまま推移したことから、交渉を打ち切った。
2. 会社側は、「昨日も会社側の基本的な考え方を説明したが、現在の各社の経営状況を踏まえたとき、会社の存続・発展と社員の雇用を確保していくためには、会社側の基本的な考え方に変わりはなく、特に郵便事業会社における債務超過の危険性を回避するためには、平成23年度において営業損益をできる限り改善し、平成24年度の黒字化の道筋を確実なものとする取り組みが急務と考えており、JP労組の理解を求めたい」とする繰り返しの説明を行い、「会社としてもJP労組からの強い要請を受け、現場で懸命に頑張っている社員のモチベーションを維持し、日々懸命に業務を遂行している努力に報いるため、昨日、厳しい経営判断として、定期昇給を完全実施するという回答を示した。しかし、JP労組が強く求めている一時金の上積みや月給制契約社員の基本月額の引き上げは、厳しい経営状況の中ではこれ以上の回答は困難である」との考え方を繰り返し示してきた。
3. また、会社側は、震災の影響に伴う収支の悪化が懸念される中で、春闘交渉に対する経営姿勢が一層後退していく傾向が強くなり、本日はこれ以上の交渉を継続しても前進回答が示されないことから、本部は「改めて再

日 刊 JP 新東京	No. 6 2 6	2011年4月22日(金)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

東日本大地震 仲間たちは

・東日本大地震が起きてから40日以上にたった。いまだに毎日続く地震の異常さに日本列島全体沈没のような危機感を感じる。さらに史上最大の福島原発事故に脅かされている。

このかん私たち郵政グループでは60名以上の死亡者・行方不明者をだしてしまった。

・東北方面に異動していった仲間たちはどうだったのだろうか？。

Aさんは、新東京で共に働きリターンで東北方面に帰った後輩4名と連絡を取ったが無事だった。その中の一人は震災で有名になってしまった名取で働いていたが、かろうじて難をのがれた。

mさんは、家族に連絡をして無事を確認できたが、交通手段が無く会いに行けないでいる。

Sさんの義弟は山形から岩沼市に働きに来ていて地震と津波に遭遇した。たまたま外に出ていなく高台にある会社にいたため無事だった。アパートは海水で住めなくなり布団もなく寒さをしのぐため車で3日間過ごした。

Iさんは、亘理町でおじさんとおばさんを亡くしてしまった。地域の人を安全な方へ導いていて遅れてしまったという。すべての家は流されてしまい、残っていたのは柱だけという悲惨な状況だったという。

・テレビでは復興しつつあると報道されていますが、15万人以上の方がいまだに避難生活をしている状況は変わりありません。家や財産・家財、財布や免許証をなど全てを津波に流され、また原発周辺20kmの住民は着の身着のまま避難生活を強いられている。震災から40日以上たつが支援義援金などまだ届いていない。

・コンビニやスーパーが開くようになったが量の制限や営業時間も短い。購入する金もないのが現状だという。神戸のある業者がある避難所に洗濯機を6台提供したとテレビで報道していました。長い列をつくって順番を決めて「1月ぶりに洗濯」をしたと喜んでいました。盛岡の知人は、下着・靴下などの支援物資には「表現が悪いけど群がるような状況」と言っています。

政府調査で風呂に一ヶ月間入れない避難所が16ヶ所あるとい30%の調査なので実際は50ヶ所以上にのぼるといふ。

また情報も不足して、不安な毎日が続いている。

・政府も頑張っているのだろうが、もっと早めの対策を期待したい。あまりにも見えないのはまずい。

・JP労組として「義援金カンパ」「節電・節約」について激励メッセージの取り組みをしています。いまこそJP労組の力の発揮どころです。激励し輪を広げましょう。

日東配 説明会オルグ

4月25日（月） 18時～

4月26日（火） 12時45分～

4月27日（水） 9時～

第82回メーデー

4月29日（金） 代々木公園

新入組合員の集い

5月29日（日） 場所未定

日 刊 JP 新東京	No. 6 2 7	2011年4月25日(月)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

第4回定期全国大会 告示

日本郵政グループ労働組合同規約第32条、第34条および第36条により、第4回定期全国大会を下記のとおり招集する。

記

1. 日 時 2011年6月15日(水) 9:30
～ 17日(金) 15:00

2. 場 所 とどろきアリーナ
〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-3
[TEL] 044-798-5000
[FAX] 044-798-5005

3. 議 案

- (1) 第1号議案 2011年度運動方針(案)
- (2) 第2号議案 2011年度財政方針および予算(案)
- (3) 第3号議案 2011年度JP共済事業推進計画
および予算(案)
- (4) 第4号議案 日本郵政グループ労働組合同規約
および規則等改正(案)
- (5) その他

2011年4月12日
日本郵政グループ労働組合
中央執行委員長 竹内法心

岩手県及び宮城県内の5支店における ゆうパックの集配の一部再開について

郵便事業会社及び郵便局会社は本部に対し、これまでゆうパックの引受及び配達を停止してきた、岩手県（大船渡支店・釜石支店・陸前高田支店）及び宮城県（石巻支店・塩釜支店）の5支店について4月18日からゆうパック（保冷扱いを除く）の取扱いを再開するとの説明を行ってきました。

今回の再開によって、岩手県及び宮城県に関しては、冠水・通行止めなどの一部の地域を除いて集配体制が整うこととなります。

なお、再開するにあたり会社は、避難所あての荷物は避難所名及び受取人様の氏名等をラベルに記載いただくことや、大幅遅延が生じる可能性があることを予めホームページ等にて周知するとともに、避難所あてゆうパック（ラベル記載等により判別）場合により支店を通さず統括支店から直接配達することも行うなど、荷物の急増による混乱防止策を講じるとしています。

社員周知に関しては、なお、現地の状況に応じて施策実施を優先したことから、両社各支社に対し本施策の予定について4月15日（金）に周知のうえ、郵便事業会社の緊急指示文書掲載及び、郵便局会社の情報文書発信は4月15日（金）、郵便ホームページについては、4月16日（土）に更新を行ったとしています。

本部は、両社に対し取扱変更の指示文章が発出されていることから、取扱いの内容等社員周知を徹底するよう申し入れ、本案件について了承したので周知します。

日 刊 JP 新東京	No.628	2011年4月26日(火)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

仲間の皆さまのご支援に 感謝申し上げます

JP労組東北地方本部執行委員長 有馬 輝

この度の東日本大震災に際し、全国の仲間の皆さまから心温まるご支援と激励を賜り、心から感謝申し上げます。(以下、中段略)

さて、3月11日14時46分に発生したこの地震とそれに伴う津波は、かつてない甚大な被害を発生させ、自宅や職場が一瞬のうちに流れ、なぜ！という天災へのやり場のない怒り・思いの中で、地域の復旧・復興と郵政サービスの確保に向けて精一杯取り組んでいる組合員、さらには、福島原発の爆発事故により放射能漏れが発生し、健康被害への不安を抱いている組合員など、皆さまさまざまな苦労・心労の中で日夜頑張っております。

この最大の危機をどのように乗り越えるかは、私たち一人ひとりの行動にかかっていると考えております。いまだ続く余震とライフラインの復旧がままならない不安の中で、それでも復旧・復興に向けて、「3.11、14:46」の刻を一步一步進めなければなりません。

私たちにはJP労組東北の仲間20,200人、全国24万人の絆があります。自分を信じ、仲間を信じ、未来のある希望をつかむため、心をひとつに頑張ります。

2011年4月

竹内委員長が被災地を激励訪問

3月28日～31日、竹内中央執行委員長と西村中執が宮城県と岩手県の郵便局や支店等を激励のため訪問し、支援物資を手渡した。

実際に被害を目の当たりにした竹内委員長は、「想像以上の被害状況でした。局舎が津波で全壊したため、仮設の局舎で何とか業務を再開しているところもありました。組合員の皆さんは自らも被災され、ご家族が行方不明の方も多くいらっしゃるにもかかわらず、郵便の配達や、窓口でお客様からの問い合わせや相談対応等に懸命に努力されてきました。この頑張りに応えるため、引き続き皆様のご支援をよろしくお願ひします」とさらなる協力を呼びかけた。

組合員のつぶやき

音楽はいいよね。人に喜びや勇気を与えてくれるもの。

あの東日本大震災で避難所生活を余儀なくされた子供たちが、「アンパンマンのマーチ」の曲を耳にすると、パッと笑顔になるというから。言霊はリズムに乗って子供たちの心に明かりを灯すのでしょうか。大人も気持ちが沈んだときは、何か口ずさむといい。九ちゃんの「上を向いて歩こう」なんていいね。世界中で大ヒットして、「スキヤキソング」って呼ばれたけど、ベルギーやオランダでは、「忘れ得ぬ芸者ベイビー」だって。いい音楽は意味不明なタイトルでも売れるもんなんだなあ。

確かに音楽は癒しも与えるけど、また時に強烈なメッセージを放ち、人に意識の喚起を呼び起こしたりもするよね。

25年前の今日、ウクライナでチェルノブイリ原発が爆発してさ、世界に放射能をばらまいた時、多くのミュージシャンが反核・反原発の歌を歌ったんだよね。中でも故・忌野清志郎が強烈でね。レコードが発禁にもなった。親会社が原発の設計主だったから。それでも清志郎はコンサートで「♪だませやしねえ・・放射能はいらねえ・・今度のことでバレちゃったその黒い腹・・(LOVE ME TENDER)」「♪東海地震もそこまで来てる・・それでもテレビは言っている 日本の原発は安全です さっぱりわかんねえ 根拠がねえ！あぶねえ あぶないぞ あぶねえぞ・・(サマータイムブルース)」

最近では、斉藤和義がネットで自身の歌「ずっと好きだった」を「ずっとウソだった」の替え歌にして公開したよね。Youtubeやニコニコ動画にアップしたらすぐに削除されたけど。

「音楽は人に喜びや勇気を与え、時に鋭いメッセージを放つ」労働組合もそうありたいよね。原発事故の処理にあたっている人たちは大丈夫なのかな？劣悪な環境で命を削りながら作業にあたっている労働者の声を代弁するのって労働組合の務めだよな。東電もそのうちトップの責任問題や賠償責任等の問題が具体的に取り沙汰されるでしょ。普通の会社なら大きな損失を招き、社会的信用を失墜させたなら、トップや幹部は責任を取るの当たり前。それを厳しく監視・追求するのも労働組合。

火災共済・自然災害共済の取組み

(1) 共済期間

共済契約の始期統一（毎年1月1日）に向けて、今回の契約（2011年発効）に限り「2011年7月1日から2011年12月31日までの6か月」とします。

(2) 共済金の払込方法は「一括払」または「月払」のいずれかとします。

	現職者給与控除	現職者口座引落	退職者口座引落
一括払	夏期手当支給日	夏期手当支給日	6月15日
月払	例月給与支給日	例月給与支給日	毎月15日

※「半年払」の申込みはできません。

※現在の払込方法が「年払」と「半年払」の場合は今回に限り「一括払」として圧着はがきおよび申込書に印字されます。

※「月払」ができる下限掛金は「一括払（契約単位）」で4,500円以上です。

※徴収方法が「郵便振替」と「支部納付」の場合は、「月払」の申込みはできません。

【掛金納入方法一覧】

	給与控除	口座引落	支部納付	郵便振替
一括払	○	○	○	○
月払	○	○	×	×

(3) 1口あたりの共済掛金額

6か月の短期契約となることから、「一括払」の掛金額が変わります。

「月払」の掛金額は従来どおりです。

	火災共済		自然災害共済			
			標準タイプ		大型タイプ	
	木造	耐火	木造	耐火	木造	耐火
一括払	40円	20円	45円	25円	65円	38円
月払	7円	3.5円	8円	4.5円	11円	6.5円

ポスライフからのお知らせ

大地震により被害を受けられた皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

一日も早く復旧されますことを心からお祈り申し上げます。

今回の被災について、ポスライフの対応を以下のとおりお知らせいたします。

●ポスライフサービスセンター受付時間の延長

※受付時間の延長期間は2011年3月15日～4月28日まで行います。



0120-562-105

平日 9:00 ~ 19:00

被災された方の電話対応を優先させていただきますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

※東京電力の計画停電の実施状況によっては、受付時間等が変則的になる場合もあります。

※延長期間および延長時間の変更はポスライフホームページ等にてお知らせいたします。

※FAXやポスライフホームページでもお問い合わせを受付しています。

FAX 03-5785-0887 (24時間受付)

URL <http://www.postlife.or.jp/>

●共済掛金払込みおよび契約更新手続きの特例措置

被災により掛金の払込みおよび契約の更新手続きが困難な場合、お申し出により共済掛金の払込猶予期間および契約の更新手続きの期間を延長します。詳しくは、サービスセンターまでお問合せください。

※東京電力の計画停電の実施状況によっては、受付時間等が変則的になる場合もあります。

●各種発送物の遅延について

この地震による広範囲に渡る交通事情等の影響により、ポスライフからの各種発送物について、お届けに大幅な配送遅延が発生する場合がございます。

ご不便をお掛けしまして大変申し訳ありませんが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

マイカー共済について

地震または地震による津波を直接の原因とする損害は補償の対象となりません。

※詳しくはマイカー共済事故受付ダイヤル(☎0120-0889-24)にお問い合わせください。

1普分会 分会議開催

元窓口分会長を交え活発な意見交換

4月22日、日勤勤務終了後1

普分会会議が行われました。

当日は、分会役員は勿論の事、

7日付けで1普計画へ異動してきた元窓口分会長の尾形さんを交え色々な意見交換が行われました。

阿部分会長による進行の下、高橋分会幹事から9日に行われた拡大執行委員会の報告がありました。

まずは、東日本大震災の義援金と支援物資ありがとうございます。

す！

1普分会としては、83700円の義援金が集まりました。

この場を借りて感謝するとともに、阪神淡路大震災時のときのよう、みなさんのたくさんの気持ちを集めたいので、ますますの御協力をよろしくお願い致します。1普分会としても2次・3次集約で少しでも協力出来るよう行動していこうと確認しました。

また、JP労組新東京支部としては、1普分会から組合員の箱崎誠二さんが6月上旬に東北地方へボランティアに行く事が決定しました。箱崎さんは、阪神淡路大震災の時も率先してボランティア活動に参加して戴いた方です。今回の大震災も中央本部に直接連絡し、「是非参加させて欲しい」と言うてくれました。

阪神淡路の時の経験を生かし、怪我や体調管理には気を付けて東北地方の被災者救援にあたって欲しいと思います。

ただ、現実はまだ非常に厳しい状況です。生半可な気持ち、装備や服装では行くことはできないですが、「是非ボランティアに行きたい」という人がいれば、各分会の役員まで声かけよろしく願います。

また、今回の人事異動で分会役

員の転出があつた分会は、組織体制の建て直しを図ってほしいとの報告がありました。幸いにも1普分会役員の今回の異動はなく、窓口分会から分会長が異動してきた事もあり1普分会として益々の盛り上がりを見せていこうと熱く語り合いました。

また、今回の分会会議は春闘での一時金2・8月に対する抗議ハガキの集約をしていた時期でもあり、短期間の取り組みにも関わらず、ほぼ全ての組合員に協力してもらつた事ができました。

この場を借りまして感謝したいと思ひます。

会社に対する組合員の怒りや憤りがこの短期間での集約に繋がつたのであり、1普分会そして支部としても会社側に引き続き抗議の声を上げていきたいと思ひます。

プルタブ回収運動で 車椅子を福祉施設に送ろう！

新東京支部から始まったプルタブ回収運動！

休息室で飲んだ缶コーヒーや缶ジュースについているプルタブ…捨てればただのゴミですが回収すれば、立派な車いすに変身します。一つ一つではちいさなプルタブ…みんなで集めれば大きな運動になっていきます。組合事務室で集約していますので、ある程度集まったら持ってきて下さい。よろしくお願ひします。

ゴルフアー保険・個人賠償責任保険 のご案内

ゴルフアー保険とは、ホールインワンまたはアルバトロスを達成したお祝いとして実際にかかった費用を支払う保険です。プレー中のケガやクラブなどの盗難・破損についても補償するものです。

個人賠償責任保険とは、日常のちょっとした不注意で他人をケガさせたり、他人のものをこわしてしまつたりして、賠償請求をうけたとき、補償する保険です。自転車で通行人にケガをさせてしまつたりしたときなどに保険金が支払われます。

加入申し込みは、春のみ…